

ニュー スキン ジャパン 株式会社

「ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金」  
2008 年度 活動報告



ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：新宿区西新宿、代表取締役社長：ブレット ネルソン）は、「ニュー スキン ジャパン フォース フォー グッド 基金」（以下、FFG 基金）の 2008 年度における活動状況を報告いたします。FFG 基金は、日本国内で子どもたちの未来のために活動している団体を継続してサポートすることを目的に、2006 年 3 月に設立されました。設立から 3 年が経過した 2008 年度（2008 年 4 月～2009 年 3 月）に基金に寄せられた寄付金は、5,766 万 8,792 円に達し、2009 年 3 月現在までの基金への累計寄付金額は、1 億 8,132 万 0,151 円にのびりました。FFG 基金は、おもに毎月決まった金額がコミッションや給料から引き落とされる「マンスリー サポート<sup>\*1</sup>」によって支えられています。ディストリビューター<sup>\*2</sup>と社員からの継続的な寄付を受けることで、支援先への安定したサポートや災害時における被災地への迅速な援助が可能となっています。また、基金では、定期的に寄付者と共に、支援団体へのボランティア活動や、支援先を招いてのスペシャル スピーチを実施しています。これにより、支援先の活動をディストリビューターや社員に伝えられるため、社会に貢献することの必要性を「知る」機会の提供の場ともなっています。

ニュー スキン ジャパンは、今後もより良い世の中のために、Force for Good 活動を広げていきます。

<sup>\*1</sup> 寄付の種類は、毎月継続した寄付ができる「マンスリー サポート」と、いつでも手続きができる「単発寄付」の 2 種類。マンスリー サポートは、毎月決まった金額（1,000 円・3,000 円・5,000 円・10,000 円）が、月々のコミッションや給料から自動的に引き落とされるシステム。

<sup>\*2</sup> ニュー スキンと契約した個人または小規模の法人。

フォース フォー グッド  
■ Force for Good とは？ ニュー スキンの社会貢献活動について

Force for Good とは、ニュー スキンが「世界中の人々に尽くすことを目的としてビジネスを展開する」という企業理念に基づいて行っている社会貢献活動です。

世界中のディストリビューターおよび社員からの寄付は、これまでに 1,750 万ドル<sup>\*3</sup>に達し、先住民の文化伝承、環境保護、難病根絶のための研究など、特に子どもたちにとってより良い世界を創造するためのさまざまな活動に役立てられています。

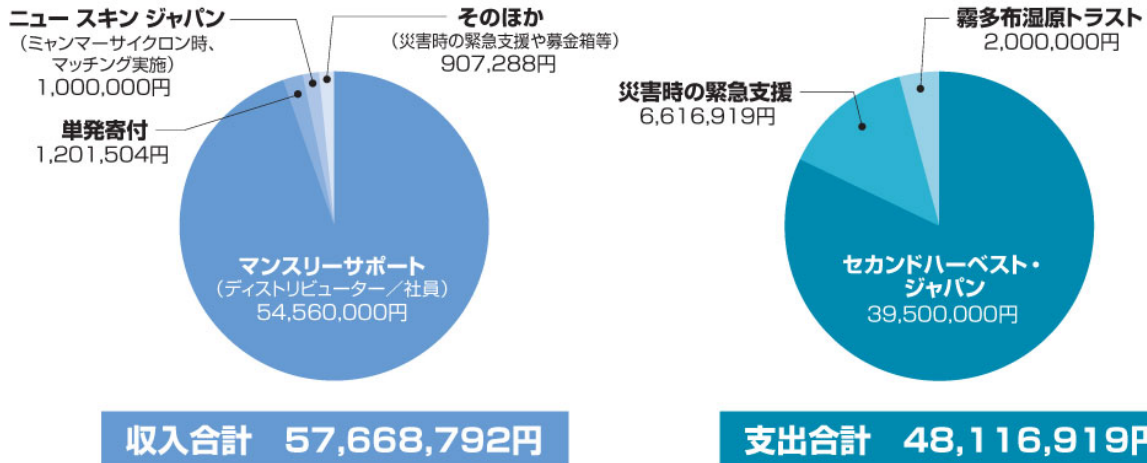
また、エスネピック製品<sup>\*4</sup>の開発にあたり、先住民から貴重な知識を授けてもらったことへの感謝から始まった「Force for Good Campaign（キャンペーン）」では、製品 1 個の売上につき 25 セントが寄付され、支援を必要とする人々のために役立てられています。

<sup>\*3</sup> 2009 年 4 月現在。17 億 5 千万円。1 ドル＝100 円換算。

<sup>\*4</sup> 世界各地の先住民の間で伝えられてきた、植物の知恵を現代科学と融合した製品群。

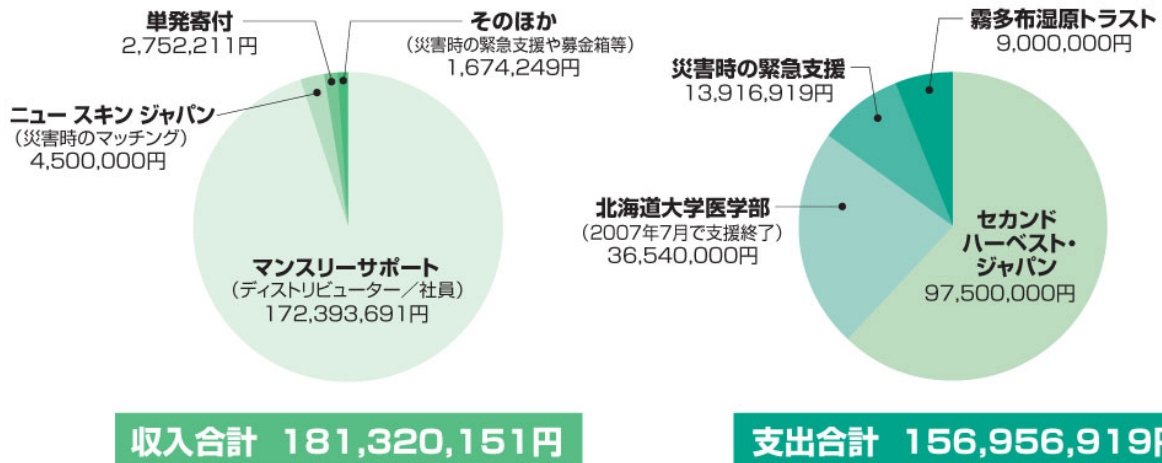
2008 年度の活動収支／累計収支および各支援先の詳細は、次頁のとおりです。

## 2008年度 FFG基金の収支について



残高：9,551,873円

## 2006年度～2008年度 FFG基金の累計収支について



残高：24,363,232円

注) 基金設立前からサポートをしていた団体への寄付累計は、以下のとおりです。

- ・霧多布温原トラストへの寄付累計：40,200,000円 (2000年から2009年3月現在)
- ・北海道大学医学部への寄付累計：109,670,000円 (2003年から2007年7月で終了)
- ・セカンドハーベスト・ジャパンへの寄付累計：100,800,000円 (基金設立時にニュー スキンエンタープライズが寄付した330万円含む)

セカンドハーベスト・ジャパン（生活困窮者への食料支援）

セカンドハーベスト・ジャパンは、まだ食べることができるのに、包装の不備や発注のミスなどで大量廃棄されてしまう食料を、食品メーカーなどから受け取り、児童養護施設や食料を必要としている人々へ提供する、日本初のフードバンクです。

FFG 基金では、基金が設立した2006年からセカンドハーベスト・ジャパンへの継続した支援を行ってきました。2008年度、セカンドハーベスト・ジャパンは基金からの寄付により4トントラックを購入し、より多くの食料を一度に配送できるようになりました。

また、基金からの継続した支援によって、セカンドハーベスト・ジャパンの食料配布量を、2006年度255トン、2007年度300トン、そして2008年度は850トン（金額に換算して4億800万円に相当）へと拡大することができました。

基金では、寄付者にセカンドハーベスト・ジャパンの活動を知り、身近に感じてもらうため、定期的に炊き出しボランティアへの参加や、スピーチ、各ウオークインセンターでの食料受付を実施しています。

・セカンドハーベスト・ジャパン ホームページ：<http://www.2hj.org/>



霧多布湿原トラスト（環境保護）



霧多布湿原トラストは、天然記念物であるタンチョウをはじめ、多くの動植物の保護と、美しい湿原をそのままの状態を守るために民有地を買い上げるなどの、環境保全活動を行っている認定NPO団体です。霧多布湿原トラストは2000年に設立され、ニュー スキン ジャパンは、設立当初からこの団体を支援してきました。

2008年度、霧多布湿原トラストは、湿原の周辺にある民有地245ヘクタールを購入しました。これにより、借地・協定地を含む買上げ地の累計は、670ヘクタールに達しました。これら買上げ地の半分以上は、ニュー スキンからの寄付で実現しています。霧多布湿原トラストでは、「この湿原を子どもたちへ」をコンセプトに、自然と調和した豊かな生活を楽しむことができるよう、子どもたちに向けたさまざまな環境教育プログラムにも注力しています。

・霧多布湿原トラスト ホームページ：<http://www1.ocn.ne.jp/~wetlands/>



災害時の緊急支援

地震などの災害に遭った被災地、被災者に向けた迅速な対応が、基金設立により可能になりました。

緊急支援の一例（基金設立後）

- ・ミャンマー サイクロン災害（2008年）
- ・岩手・宮城内陸地震（2008年）
- ・能登半島地震（2007年）
- ・中国四川省大地震（2008年）
- ・新潟県中越沖地震（2007年）
- ・ジャワ島中部地震（2006年）